

## 1年国語科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年別配当漢字表に示されている漢字に加え、そのほかの常用漢字の読み書きができる。また、文や文章の中で使うことができる。</li> <li>・事象や行為、心情を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、五感を磨き、語彙を豊かにしている。</li> <li>・単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。</li> <li>・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。</li> <li>・音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古典を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>【話すこと・聞くこと】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。</li> <li>・必要に応じて記録し、質問しながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【書くこと】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書く内容の中心が明確になるよう、段落の役割などを意識し文章の構成や展開を考えている。</li> <li>・根拠を明確にししながら、自分の考えがわかる文章になるように工夫している。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【読むこと】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。</li> <li>・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すすんで文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを確かなものとし、考えたことを伝えようとしている。</li> <li>・積極的に場面と場面、場面と描写などを結び付けて解釈し、学習の見通しをもって考えたことを伝えあおうとしている。</li> <li>・必要な情報に着目して要旨をまとめると共に、学習課題に沿って積極的に文章にまとめようとしている。</li> <li>・古典の世界に親しむと共に、学習の見通しを立てて考えたことを積極的に伝えようとしている。</li> <li>・自分の考えを確かなものにするとともに、学習課題について粘り強く考え、伝え合おうとしている。</li> </ul>
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常用漢字配当漢字表に示された漢字の読み書きができる。</li> <li>・語句の役割を理解し、語彙を豊かにすることができる。</li> <li>・文語のきまりや訓読の仕方を理解し、活用できる。</li> </ul> <p>小テスト、定期テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設定した話題に沿って、自分の考えを発表できる。</li> <li>・文章の効果的な構成や根拠を考えて文章を書ける。</li> <li>・文章を読み、内容を理解したうえで自分の意見をもてる。</li> </ul> <p>ワークシート、定期テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノート、ワークシートなどを提出し、授業に意欲的に取り組むことができる。</li> <li>・様々な分野に興味・関心をもち、文章に触れることができる。</li> </ul> <p>ノート、ワークシート</p>
カ テ ィ ン グ ポ ィ ン ト	<p>90～100%・・・「5」</p> <p>80～90%・・・「4」</p> <p>50～75%・・・「3」</p> <p>20～50%・・・「2」</p> <p>0～20%・・・「1」</p>	<p>それぞれの観点別評価は原則として</p> <p>「A」・・・80%以上</p> <p>「B」・・・50%以上</p> <p>「C」・・・50%未満</p>	

2年国語科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</li> <li>・抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</li> <li>・本や文章には、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。</li> <li>・歴史的仮名遣いに注意して、作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。</li> <li>・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通し、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。</li> </ul>	<p><b>【話すこと・聞くこと】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。</li> <li>・論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。</li> </ul> <p><b>【書くこと】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。</li> <li>・目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</li> </ul> <p><b>【読むこと】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>・文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字や語句の意味について理解を深め、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。</li> <li>・登場人物の言動の意味を考え、今までの学習を生かして考えたことをノートにまとめようとしている。</li> <li>・登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって自分の考えを深めようとしている。</li> <li>・文章の構成や論理の展開について考え、学習の見通しをもって議論しようとしている。</li> <li>・積極的に意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって、意見を述べる文章を書こうとしている。</li> <li>・古典の世界に親しむと共に、現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、学習課題にそって解釈したことを表現しようとしている。</li> <li>・学習課題に対して、粘り強く意欲的に取り組み、自らを調整していくことで考え方を広げ、技能を磨こうとしている。</li> </ul>
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常用漢字配当漢字表に示された漢字の読み書きができる。</li> <li>・語句のはたらきや特徴について理解し、語感を磨き語彙を豊かにすることができ、活用できる。</li> <li>・古典作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知らることができる。</li> </ul> 小テスト、単元テスト、定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら課題を設定し、話の構成や表現の工夫をして発表することができる。</li> <li>・文章構成や表現の工夫とその効果について考え、文章を整えることができる。</li> <li>・文章を読んで理解したこと、考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。</li> </ul> ワークシート、定期テスト、単元テスト、課題作文、議論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に積極的に参加し、ノートやワークシートへの取り組みができる。</li> <li>・様々な分野に興味・関心を持ち、知識や技能を磨きながら自らを調整することができる。</li> </ul> ノート、ワークシート等
カテゴリ ポイント	90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～75%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」	それぞれの観点別評価は原則として 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満	

### 3年 国語科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読み、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使用している。</li> <li>・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに使い分けをし、語感を磨き語彙を豊かなものにしていく。</li> <li>・話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使用している。</li> <li>・具体と抽象など情報を情報との関係について理解を深めるとともに、情報を信頼性の確かめ方を理解し使用している。</li> <li>・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しみ、長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使用している。</li> </ul>	<p>【話すこと・聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活の中から話題を決め、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて話の構成や表現を工夫している。</li> <li>・話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価したり、話し合いにつなげたりし、自分の考えを広げ深めている。</li> </ul> <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じて社会生活の中から題材を決め、伝えたいことを明確にして読み手を説得できるような論理の展開を工夫し、文章全体を整えている。</li> </ul> <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読んで、論理や物語の展開の仕方、ものの見方や考え方を捉え、自分の考えを広げたり深めたりして自分の意見をもととしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの言語感覚を豊かなものにし、言葉によって自分の考えを形成したり、考えたことを相手に伝えようとしたりしている。</li> <li>・相手、目的、場面などに応じて適切な言葉を判断し、相手に伝わるように使用しようとしている。</li> <li>・時間の経過による言葉の変化などについて理解し、今までの学習を行かして考えたことを説明しようとしている。</li> <li>・自らの学習課題に対し、粘り強く取り組み、自己を向上させ、思いや考えを伝え合おうとする態度を養おうとしている。</li> <li>・粘り強く学習課題に取り組み、調整しながら意欲的に学習する態度を養おうとしている。</li> </ul>
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常用漢字配当漢字表に示された漢字の読み書きができる。</li> <li>・語彙を豊かにし、適切に使用することができる。</li> <li>・古典の基本を理解し、活用できる。</li> </ul> <p style="text-align: center;">小テスト、定期テスト、単元テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら課題を設定し、自分の考えを発表できる。</li> <li>・相手に伝わる効果的な文章構成や表現を考えて文章を書ける。</li> <li>・相手の考えから自分の考えを広げることができる。</li> </ul> <p style="text-align: center;">ワークシート、定期テスト、単元テスト 課題作文、発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に積極的に取り組み、ノートやワークシートへの取り組みができる。</li> <li>・様々な分野に興味・関心をもち、自分の言語感覚と学習意欲を向上させることができる。</li> </ul> <p style="text-align: center;">ノート、ワークシート、発表等</p>
カ テ ィ ン グ ポ イ ン ト	<p>90～100%・・・「5」</p> <p>80～90%・・・「4」</p> <p>50～75%・・・「3」</p> <p>20～50%・・・「2」</p> <p>0～20%・・・「1」</p>	<p>それぞれの観点別評価は原則として</p> <p>「A」・・・80%以上</p> <p>「B」・・・50%以上</p> <p>「C」・・・50%未満</p>	